

いわき市感染症発生動向調査 令和8年第18週(4月27日～5月3日)

○定点把握対象疾患(報告数が多い上位3疾患)

順位	疾患名	定点あたり患者報告数	最近の傾向(過去2週間との比較)
1	感染性胃腸炎	6.00	増加
2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.20	減少
3	突発性発疹	1.00	増加

※その他の定点把握対象疾患の報告数については、福島県感染症発生動向調査報告(ホームページ内リンクあり)からご確認ください。

○今週のトピックス

◆感染性胃腸炎に注意◆

◆市内における報告数が増加しています。

感染性胃腸炎とは、細菌やウイルスなどの病原体による感染症です。

◆感染経路

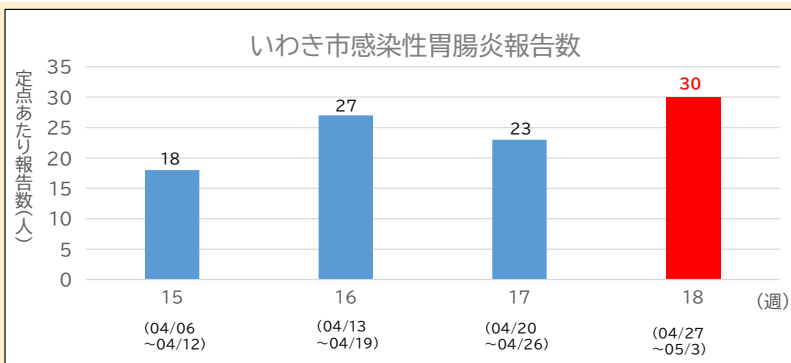
接触感染: 病原体が付着した手で目・鼻・口に触れることによる感染

経口感染: 汚染された食品を食べたり、飲んだりすることによる感染

◆予防対策

トイレの後や、調理・食事の前には、**石けんと流水で十分に手洗い**しましょう

カキなどの**二枚貝を調理するときは、中心部まで十分に加熱**しましょう



◆麻しん(はしか)に注意◆

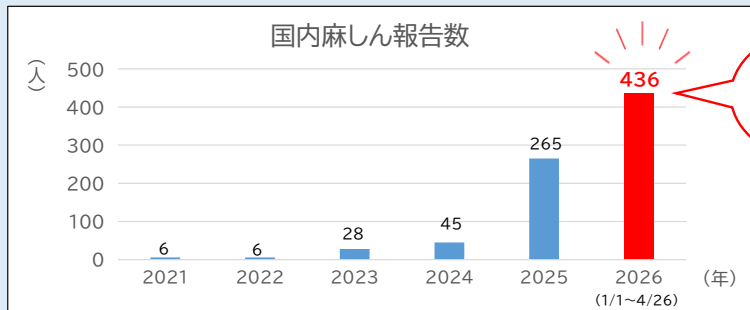
◆国内外における麻しん(はしか)の報告数が増加しています。

海外渡航後は、体調の変化に気を付けていただくとともに、国内での感染にもご注意ください。ワクチン接種が有効な手段ですので、定期接種の対象者(1歳児、小学校就学前1年間の幼児)はワクチンの接種をご検討ください。

発疹等麻しんを疑う症状がある場合には**医療機関に事前に連絡をしてから受診**をお願いします。



【麻しん(はしか)について】
市ホームページ



令和7年の年間報告数を超えた!



◆新型コロナウイルス感染症に注意◆



【新型コロナウイルス感染症基本的な感染対策について】
市ホームページ

第18週の患者定点報告では、**すべて「10代以下」の若年層**となっています。大型連休で人の移動は増えたことから、今後感染の拡大に注意が必要です。

